



共生の拠点

大阪府宮羽倉崎住宅集会所

誰でも自由に利用でき、快適に休憩できる開放的な集会所を作りたいと考えています。人々が自然に集まり、家と職場や学びの場の間にある第三の居場所として使用します。また、空間設計を工夫することで、運営コストの削減も図ります。

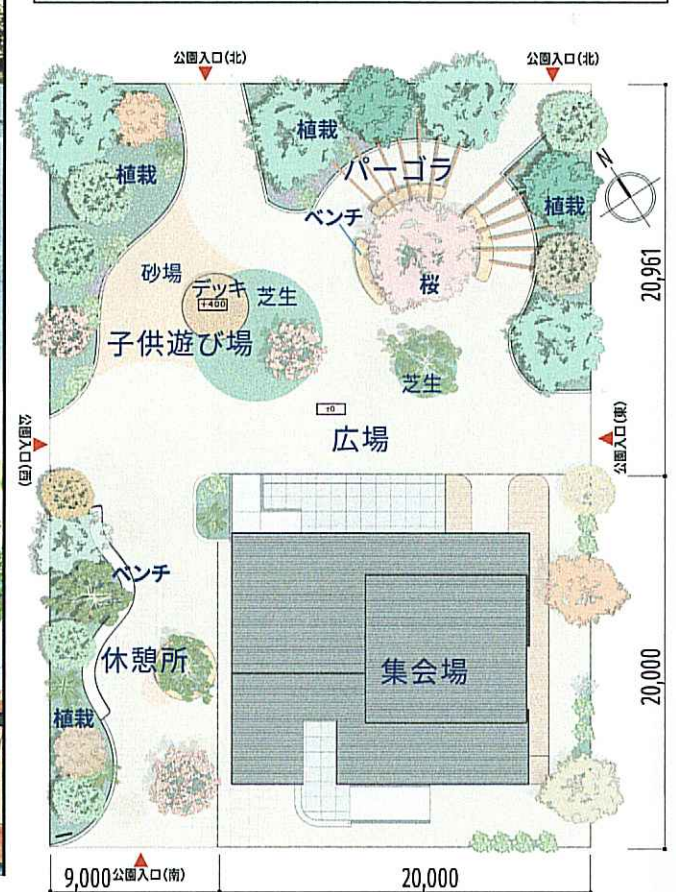
集会所は敷地の中央左側に位置し、南北にそれぞれ入口を設けることで、道路側と公園側の両方からアクセスしやすくしています。公園側には広いポーチはキッチンと隣接させています。折りたたみ椅子を使って、休憩と喫茶スペースとして利用できます。ポーチに面したキッチンにはスライド窓を採用し、窓を開けると屋外にカウンターになります。イベント時には、ここが飲み物や食べ物を提供する窓口となり、日常中住民が集まりお茶を楽しむ交流の場としても活用できます。



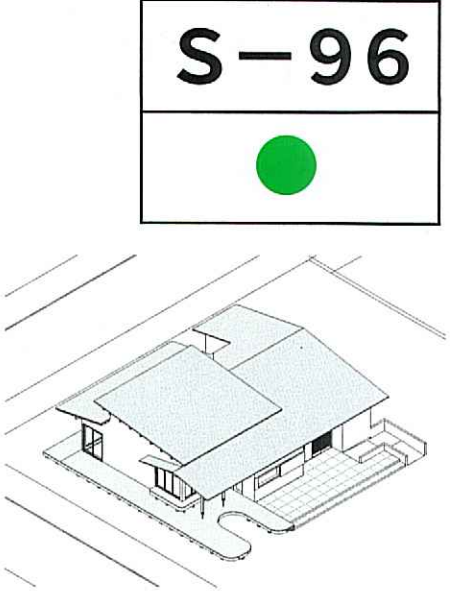
キッチンの南側には集会所があり、3枚のパネル移動間仕切で仕切ること、オープンキッチンになり、イベントに応じて独立したキッチンになりも可能です。集会所の窓は南東北側に配置し、空調費用の削減を考慮して数を抑えています。東側には集会所を囲んだデッキ、歩行者はこのデッキに座って休憩できます。デッキは南北両側のポーチにもつながっており、北側のデッキには円形の花壇を設けています。この花壇は、上から見ると給水塔の中のしずくのように見え、花壇と軒を鎖樋でつなぐ、雨水は給水塔のような重力で花壇に流れ込み、生き物の水場になります。



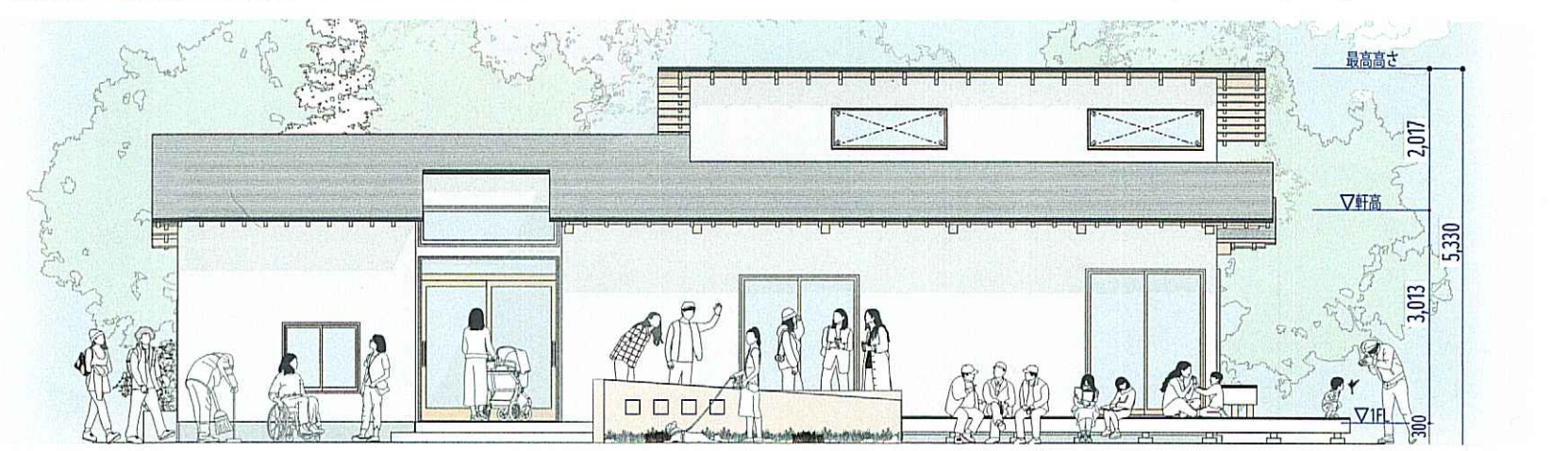
集会所の左側は公園の南部入り口通路です、中には長いベンチがあり、静かな憩いの場です。公園の北東側には円形パーゴラの休憩所を設け、そこにはツタ植物を植えることができます。これにより、夏でも涼しい休憩場所として利用できます。パーゴラの中心には桜の木を植えます。また、公園内には子どもたちが遊ぶ砂場を設置し、広場に隣接させてさまざまなイベントに対応できるようにしました。本集会所は、イベントや休憩、交流の空間を通じて、人々がつながる場となることを期待しています。



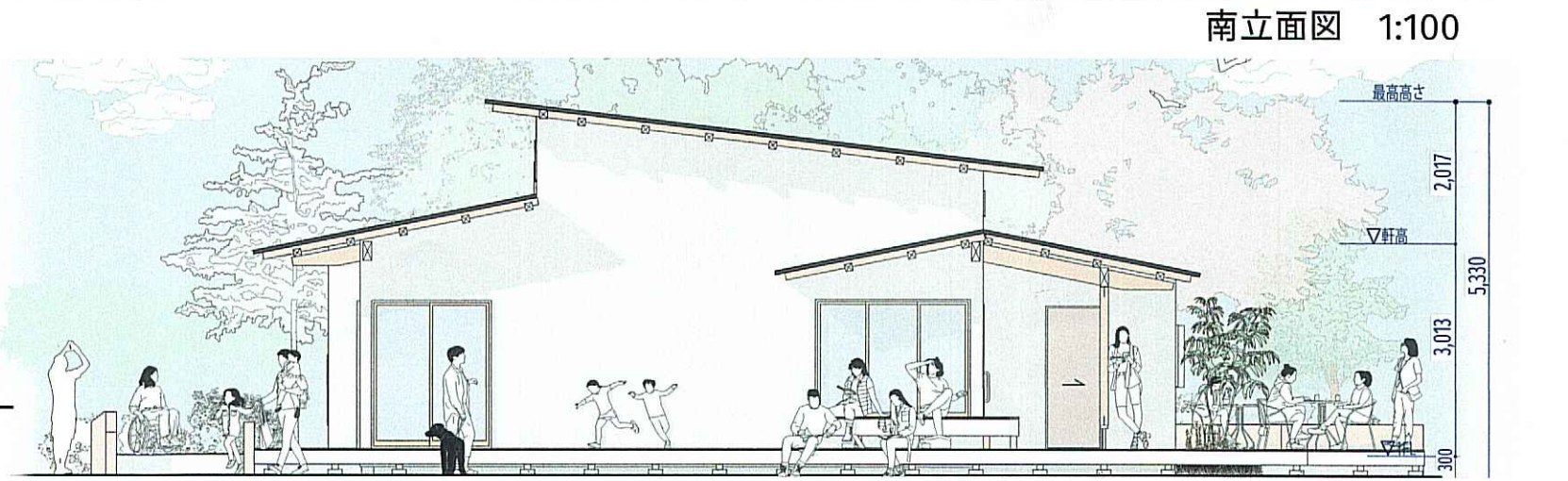
配置図兼屋根伏図 1:400



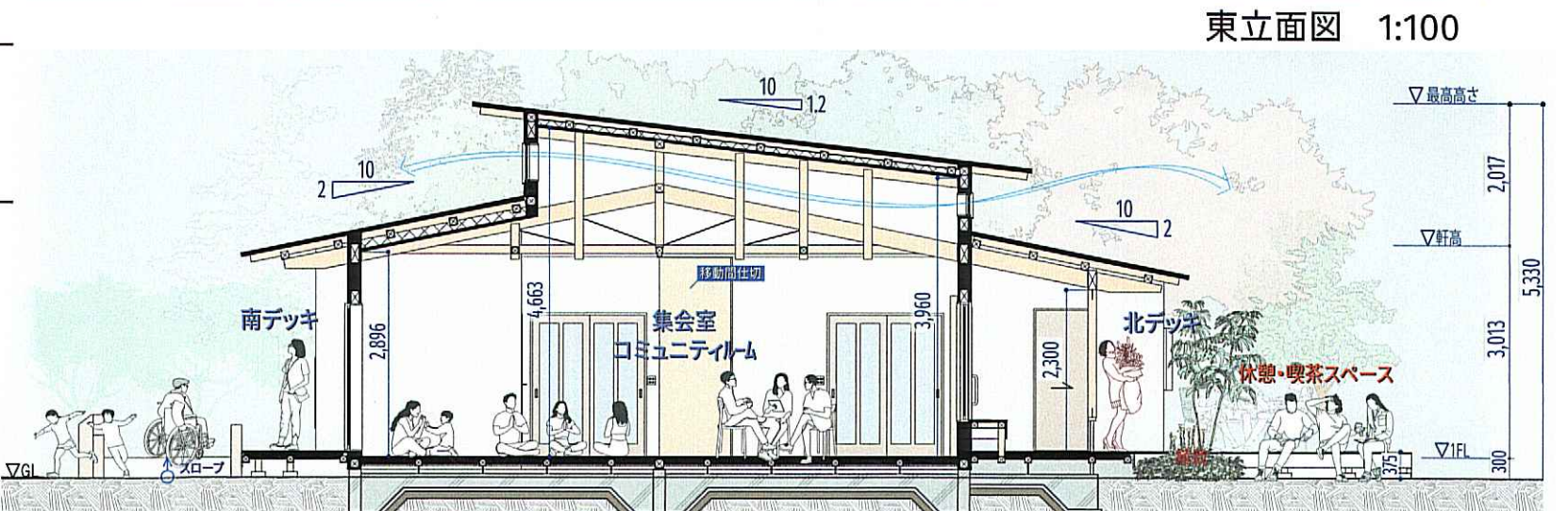
S-96



南立面図 1:100



東立面図 1:100



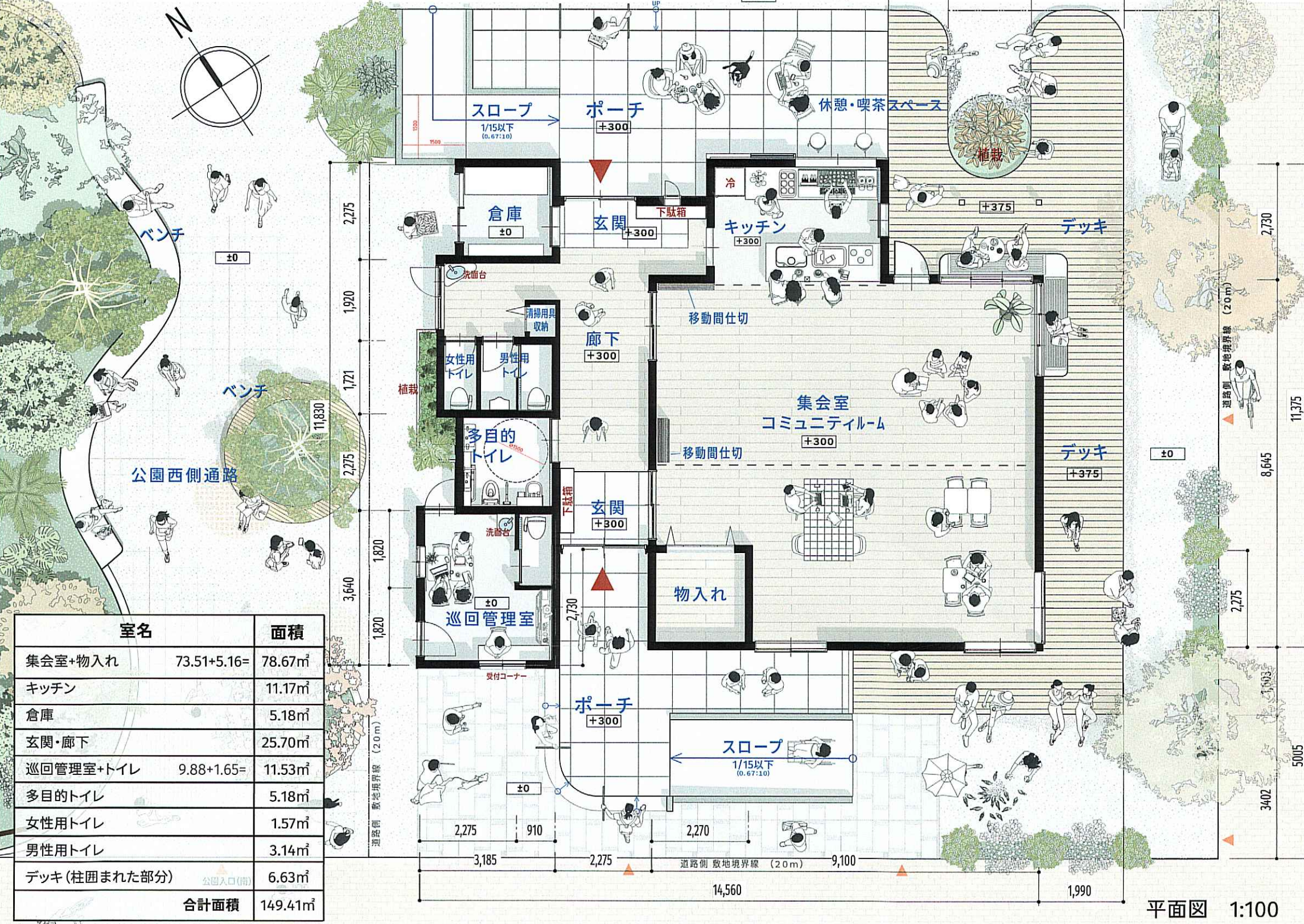
断面図 1:100

構造・構法
木造/SE構造+トラス構造
基礎 ベタ基礎

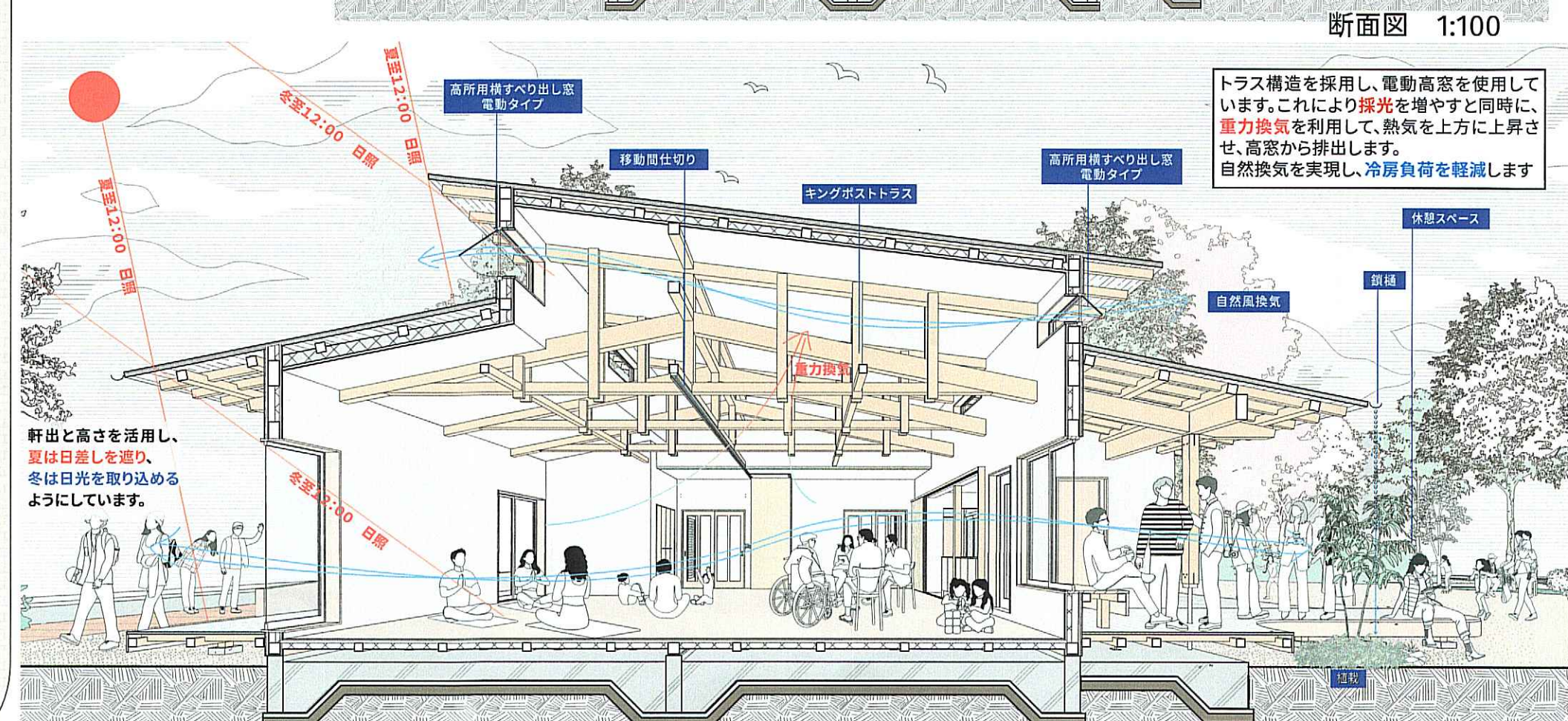
外部仕上げ
屋根材/ガルバリウム鋼板t35 葺き
外壁/アイカ ジョリパット
開口部/断熱複合サッシ

内部仕上げ
床/フローリング t=12mm
内壁/PBt=12.5mm 漆喰
天井/PBt=9.5mm トラス構造現し

バリアフリー・段差解消
集会所室内各室の床段差がなし、障がいのある方や高齢者など利用しやすい



平面図 1:100



軒出と高さを活用し、夏は日差しを遮り、冬は日光を取り込めるようにしています。

トラス構造を採用し、電動高窓を使用しています。これにより採光を増やすと同時に、重力換気を利用して、熱気を上方に上昇させ、高窓から排出します。自然換気を実現し、冷房負荷を軽減します

室名	面積
集会所+物入れ	73.51+5.16= 78.67㎡
キッチン	11.17㎡
倉庫	5.18㎡
玄関・廊下	25.70㎡
巡回管理室+トイレ	9.88+1.65= 11.53㎡
多目的トイレ	5.18㎡
女性用トイレ	1.57㎡
男性用トイレ	3.14㎡
デッキ(柱囲まれた部分)	6.63㎡
合計面積	149.41㎡